

荷重たわみ温度(HDT)試験

概要

板状プラスチック試験片の両端を支持し、その中央部に一定荷重を加えた状態で油槽に浸漬する。2°C/minの速度で油槽温度を上昇させ、変形量が規定のたわみ量に達した時の温度を荷重たわみ温度(HDT)という。

試験法

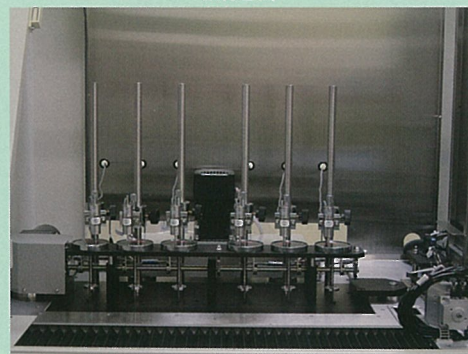
対応規格	試験片の置き方	試験片寸法	曲げ応力
JIS K7191-1、-2	フラットワイズ (推奨)	l : 80±2mm b : 10±0.2mm h : 4±0.2mm	A法 : 1.80MPa (推奨) B法 : 0.45MPa
JIS K7191-1、-2	エッジワイズ	l : 120±10mm b : 9.8 ~ 15±0.2mm h : 3.0 ~ 4.2±0.2mm	A法 : 1.80MPa (推奨) B法 : 0.45MPa
ASTM D648	エッジワイズ	l : 127mm b : 3 ~ 13±0.13mm h : 13±0.13mm	1820KPa 455KPa

装置

試験機



測定部



試料例

熱可塑性樹脂: PP、PC、ABSなど (荷重たわみ温度250°C以下)

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ (03) 6860-3161